

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	構内フェーシング工事(その2)								
	発生場所	有床救護所エリア周辺				2017/11/27	2017/11/27	2017/11/27		
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/2	測定者			測定器名	dennribakosa-beime-ta	管理番号	F1-ICW-128	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	土砂類		B	04	D	A	15 m ³	0.06 mSv/h	0.15 mSv/h	無
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1001
				2017/11/27
調整後保管日時		2017年12月1日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	5 μ Sv/h	250 μ Sv/h		エリアE1	2017/12/1 10:05	30 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0008

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月1日	(金)	13:00	承認	審査	作成				
	作業件名	構内フェーシング工事(その2)									
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2017/11/27	2017/11/27	2017/11/27				
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/11/2	測定者		測定器名	dennribakosa-beime-ta	管理番号	F1-ICW-128			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	土砂類	B	04	D	A	15 m ³	0.06 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1002
				2017/11/27
調整後保管日時		2017年12月1日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	5 μSv/h	230 μSv/h		エリアE1	2017/12/1 12:30	30 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事									
	発生場所	5,6号機プラント東側					2017/11/15	2017/11/14	2017/11/14		
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/10	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-422	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラ・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	3	塩化ビニール類	B	05	D	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	不燃物その他	B	10	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5						m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1019
調整後保管日時				2017年12月1日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2		ICW	F1-ICW-061	
3		ICWBL	F1-ICWBL-5	
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:35	0.6 m ²			2
	2	1	プラ・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:35	1 m ²			2
	3	1	塩化ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:35	0.1 m ²			3
	4	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 8:40	1 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	5,6号機プラント東側					2017/11/15	2017/11/14	2017/11/14	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/10	測定者			測定器名	ICW	管理番号	Fi-ICW-422	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	難燃物その他(エフレックス)			C 04 D B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1020
調整後保管日時				2017年12月1日 12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木											
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/11/15	2017/11/15	2017/11/15	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウェス類	A	01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
4	不燃物その他	B	10	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
5	ゴム類	C	01	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2017	—	12	—	1021	2017/11/15
調整後保管日時		2017年12月1日			8:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3		ICWBL	F1-ICWBL-5
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	1.2 m ²			2
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	1 m ²			2
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	0.3 m ²			2
	4	1	不燃物その他 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/1 8:10	0.5 m ²			1
	5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	0.1 m ²			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐 採 木											
	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③										
	6	難燃シート類	C	02	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	7	難燃物その他	C	04	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	8	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	9	ケーブル類	B	08	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	10							m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1021

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	7	1	難燃物その他	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2017/12/1 8:00	0.1	m ³			2
	8	1	塩化ビニール類 (→H)	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2017/12/1 8:00	2	m ³			3
	9	1	ケーブル類 ⑩	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2017/12/1 8:10	0.1	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		G	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事										
	発生場所	GO-17、GP-17エリア										
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ			B	01	W	B	5 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2											
	3											
4												
5												
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1022
				2017/11/15
調整後保管日時		2017年12月1日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/1 9:20	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木											
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア					2017/11/15	2017/11/15	2017/11/15		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	木材類		A	03	W	B	5 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2							m ³			
	3							m ³			
4							m ³				
5							m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1023
				2017/11/15
調整後保管日時		2017年12月1日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2017/12/1 10:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐採木						
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 -- 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年11月24日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	Jエリア					2017/11/16	2017/11/16	2017/11/16	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウェス	A	01	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2	不燃その他	B	10	D	A	3 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	金属ゴミ	B	01	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5	プラスチック・ビニール	A	02	D	A	3 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1052
				2017/11/17
調整後保管日時		2017年12月1日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2		ICW	F1-ICW-061	
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:40	0.6 m ²			2
	2	1	不燃その他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 8:50	3 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:40	1.3 m ²			2
	5	1	プラスチック・ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:40	1.4 m ²			2
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				③	状態	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年11月24日		(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	Jエリア					2017/11/16	2017/11/16	2017/11/16	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ゴム類	C	01	D	A	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2	木材	A	03	D	A	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	金属ゴミ	B	01	D	A	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5	難燃その他	C	04	D	A	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1053
調整後保管日時				2017年12月1日
				11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3		ICWBL	F1-ICWBL-5
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 11:10	0.3 m ³			2
	2	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 11:10	2 m ³			2
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 11:10	1 m ³			2
	4	1	金属ゴミ⑧	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 11:15	1 m ³			1
	5	1	難燃その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 11:10	0.6 m ³			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
	D	伐 採 木							
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。									

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ²				
	7					m ²				
	8					m ²				
	9					m ²				
	10					m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1053

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年11月24日		(金)	8:30	承認	審査	作成												
	作業件名	仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却																		
	発生場所	G1タンク盛土上					2017/11/17	2017/11/17	2017/11/17											
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL												
	元請会社				担当者			TEL												
	線量測定年月日	2017/11/9	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77										
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B						01	D	B	5	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1058
調整後保管日時				2017年12月1日
				8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	1	ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 8:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年11月30日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カパー工事								
	発生場所	第一地組ヤード					2017/11/17	2017/11/17	2017/11/17	
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/16	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属がら(仮設材・鋼材 他)			① ② ③	9 m ³	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	2	不燃物その他			① ② ③	1 m ³	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1060
調整後保管日時				2017年12月1日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら(仮設材・鋼材 他) ⑧	5 μ Sv/h	25 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 10:30	7 m ³			1
	2	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 10:30	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012603 - 0006

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1063
				2017/11/20
調整後保管日時		2017年12月1日		12:00
【保管時の指示事項等】				
β線量率が高いので持込み時は線量低減を確実に実施して下さい。				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年11月27日		(月)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	イオン交換装置点検工事									
	発生場所	2号機R/B 共用ボイラー建屋 排気設備室					2017/11/20	2017/11/20	2017/11/20		
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-107			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	プレフィルタ	B	10	D	A	0.2 m ²	0.03 mSv/h	0.4 mSv/h	β有	8 mSv/h
	2	HEPAフィルタ	A	04	D	A	1.5 m ²	0.03 mSv/h	0.4 mSv/h	β有	3.5 mSv/h
	3	キムタオル	A	01	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.015 mSv/h
4						m ²					
5						m ²					

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プレフィルタ	5	μSv/h	250	μSv/h	600	μSv/h	エリアX	2017/12/1 11:50	0.2 m ²			1
	2	1	HEPAフィルタ	5	μSv/h	60	μSv/h	120	μSv/h	エリアX	2017/12/1 11:50	1.5 m ²			1
	3	1	キムタオル	5	μSv/h	90	μSv/h	120	μSv/h	エリアX	2017/12/1 11:50	0.1 m ²			1
												m ²			
												m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6012902	-	0056
-------	---------	---	------

作業主管理	保管希望日時	2017年12月4日				(月)		10:00				承認		審査		作成	
	作業件名	浄水場電源(凍土関係)信頼性向上															
	発生場所	4号機 T/B 1FL、2FL										2017/11/20		2017/11/20		2017/11/20	
	作業主管G	設備電源グループ						監理員				TEL					
	元請会社							担当者				TEL					
G記入欄メモ	線量測定年月日	2017/11/17		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-135			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の有無		β + γ 線量率	
		①		②		③											
	1	木材(パレット)		A	03	W	B	3	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無			
	2	壁パネル		A	04	W	B	1.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無			
入欄	3	ホース		C	03	W	B	0.5	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無			
	4								m ²								
	5								m ²								
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																	

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2017/11/20
廃2017	—	12	—	1070	
調整後保管日時		2017年12月1日			10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu\text{Sv/h}$	7	$\mu\text{Sv/h}$								
1	1		木材(パレット)	2	$\mu\text{Sv/h}$	7	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2017/12/1 9:35	3 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却							
	発生場所	H4N				2017/11/30	2017/11/30	2017/11/30	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/30	測定者		測定器名	電線箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77	
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	① ② ③								
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	4 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.8 mSv/h
	2	コンクリートガラ	B 02	D A	4 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.8 mSv/h
	3	金属ガラ	B 01	D A	1 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h
	4	碎石	B 04	D A	3 m ³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
5	金属ガラ	B 01	D A	1 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h	
メモ	コンテナ2基分								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1072
				2017/11/30
調整後保管日時		2017年12月1日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥			⑦	⑧			
1	1	10m3コンテナ	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアX	2017/12/1 8:40	10	m ³		C0050	1	
1	2	10m3コンテナ	5	μ Sv/h	110	μ Sv/h	120	μ Sv/h	エリアX	2017/12/1 8:40	10	m ³		A0253	1	
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率			
			①	②	③										
	6	ポリウレア	C	04	D	A	1	m ¹	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	0.15	mSv/h
	7	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	0.15	mSv/h
	8	砕石	B	04	D	A	3	m ³	0.002	mSv/h	0.004	mSv/h	β 有	0.15	mSv/h
	9						m ¹								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1072

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」
---	-----	-------------	---	-----	----------------------------------

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	10:30	承認	審査	作成																	
	作業件名	仮)H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却																							
	発生場所	H4N					2017/11/30	2017/11/30	2017/11/30																
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL																			
	元請会社				担当者	TEL																			
	線量測定年月日	2017/11/30	測定者			測定器名	—																		
	管理番号																								
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率													
		①	②	③																					
		1	コンクリートガラ	B										02	D	A	5	m ³	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	0.4	mSv/h
		2	コンクリートガラ	B										02	D	A	5	m ³	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	0.4	mSv/h
		3	砕石	B										04	D	A	2	m ³	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.03	mSv/h
		4	砕石	B										04	D	A	2	m ³	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.03	mSv/h
		5	プラスチック・ポリ・ビニール類	A										02	D	A	3	m ³	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	0.4	mSv/h
		コンテナ2基分																							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1073
				2017/11/30
調整後保管日時		2017年12月1日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアX	2017/12/1 10:00	10 m ³		A0184	1
	1	2	10m3コンテナ	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアX	2017/12/1 10:00	10 m ³		OK-0144	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)												
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。														

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無 β 有	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	ポリウレア	C	04	D	A	3 m ²	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h		0.4	mSv/h
	7						m ²							
	8						m ²							
	9						m ²							
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1073

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1075
				2017/11/30
調整後保管日時		2017年12月1日		12:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H4N						2017/11/30	2017/11/30	2017/11/30	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/30		測定者			測定器名	電離箱式サーバイメーター		管理番号	1F-ICWBL-77
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	3 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
3	砕石	B	04	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	3 mSv/h	
4						m ³					
5						m ³					

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	5 μSv/h	5 μSv/h	10 μSv/h	エリアX	2017/12/1 12:00	10 m ³		OK-0028	1
	1	2	10m3コンテナ	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアX	2017/12/1 12:00	10 m ³		A0171	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
--------	-------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013704	-	0024
-------	---------	---	------

作業主	保管希望日時	2017年12月1日				(金)	11:00				承認		審査		作成		
	作業件名	H3エリアタンクリプレイス関連工事															
	発生場所	G6タンクエリア										2017/11/21		2017/11/21		2017/11/21	
	作業主管 G	貯留設備グループ						監理員				TEL					
	元請会社							担当者				TEL					
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2017/11/20		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-130			
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
				①	②	③											
	1	エフレックス(金属なし)		C	04	D	A	B	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無			
	2								m ²								
	3								m ²								
	4								m ²								
5								m ²									
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2017	—	12	—	1101	
					2017/11/21
調整後保管日時			2017年12月1日		11:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-5
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス(金属なし)(→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2017/12/1 10:50	8	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0024

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H3エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6タンクエリア						2017/11/21	2017/11/21	2017/11/21
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	エフレックス(金属なし)	C	04	D	A	8 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1102
				2017/11/21
調整後保管日時		2017年12月1日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-5
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス(金属なし) (→H)	2 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 12:35	8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0029																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	13:00		承認	審査	作成																																																																																						
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】																																																																																													
	発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他						2017/11/21	2017/11/21	2017/11/21																																																																																					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL																																																																																						
	元請会社					担当者			TEL																																																																																						
	線量測定年月日	2017/11/20		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-72																																																																																				
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																				
	1	難燃物その他(エフレックス)				C 04 D B	2 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無																																																																																					
	2	不燃物(ケーブル類)				B 08 D B	0.5 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無																																																																																					
	3						m ²																																																																																								
4						m ²																																																																																									
5						m ²																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11">2017年12月1日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="9">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="9">F1-ICWBL-5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日	2017年12月1日											測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICWBL	F1-ICWBL-55									2		ICWBL	F1-ICWBL-5									3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日	2017年12月1日																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																												
2		ICWBL	F1-ICWBL-5																																																																																												
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																			
	1	1	難燃物その他(エフレックス) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 12:05	2 m ²			2																																																																																			
	2	1	不燃物(ケーブル類) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアG	2017/12/1 12:15	0.5 m ²			1																																																																																			
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																														

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—		
C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—				
D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日	(金)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(燃料技術倉庫及びNo.5倉庫)			2017/11/21	2017/11/21	2017/11/21			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/21	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号 133			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	ペットボトル	A	02	D	A	4 m ³	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1115
				2017/11/22
調整後保管日時		2017年12月1日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月1日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 9:30	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木											
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(燃料技術倉庫及びNo.5倉庫)				2017/11/21	2017/11/21	2017/11/21		
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/11/21	測定者			測定器名	F1-ICWBL	管理番号	133	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ペットボトル	A	02	D	A	4 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1116
				2017/11/22
調整後保管日時		2017年12月1日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/1 11:30	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②				状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0019

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(Ⅰ期)								
	発生場所	正門南東エリア(構外、旧展望台への道路脇法面)					2017/11/24	2017/11/24	2017/11/24	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/10/26	測定者			測定器名	ICWBL			
						管理番号	F1-ICWBL-134			
No.	保管物名		※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	伐採木(根)		D	01	W	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	無
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1131
				2017/11/24
調整後保管日時		2017年12月1日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(根)				エリアG(幹・根)	2017/12/1 9:30	4 m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012802 - 0070						
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	12:00		承認	審査	作成							
	作業件名	固体庫9棟設置工事														
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫第9棟						2017/11/24	2017/11/24	2017/11/24						
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員			TEL							
	元請会社					担当者			TEL							
	線量測定年月日	2017/11/24		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-0049					
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
		①	②	③												
	1	紙・ウエス類				A 01 D B	0.5 m ²	8 μSv/h	0.01 μSv/h	無						
	2	可燃物その他				A 04 D B	0.2 m ²	8 μSv/h	0.01 μSv/h	無						
	3	不燃物その他				B 10 D B	0.2 m ²	8 μSv/h	0.01 μSv/h	無						
	4	保温材				B 06 D B	2 m ²	8 μSv/h	0.01 μSv/h	無						
	5	プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 D B	0.3 m ²	8 μSv/h	0.01 μSv/h	無						
線量測定内容																
測定日		2017年12月1日														
測定No.	氏名	測定器	管理番号													
1		ICW	F1-ICW-025													
2		ICW	F1-ICW-061													
3																
4																
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2017/12/1 12:30	0.7 m ²			2
	2	1	可燃物その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2017/12/1 12:30	0.02 m ²			2
	4	1	保温材 ③		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC	2017/12/1 12:35	2 m ²			1
	5	1	プラスチック・ポリ・ビニール類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2017/12/1 12:30	0.7 m ²			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メ モ																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0107

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月1日		(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	SARRY II 新設工事									
	発生場所	プロセス建屋 1階、サイドバンカ建屋 1階・2階					2017/11/27	2017/11/27	2017/11/27		
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/16	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-368			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール類)	A	02	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	3	可燃物(木材類)	A	03	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	4	可燃物(可燃物その他)	A	04	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
5	難燃物(難燃物その他)	C	04	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1146
				2017/11/27
調整後保管日時		2017年12月1日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月1日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2		ICW	F1-ICWBL-5
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	0.2 m ²			1
	2	1	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニール類)	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	0.05 m ²			1
	3	1	可燃物(木材類)	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアO	2017/12/1 8:00	0.3 m ²			1
	6	1	不燃物(金属ガラ) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 8:00	1 m ²			2
	7	1	不燃物(機器類・制御盤類) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2017/12/1 8:00	1 m ²			2
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	1	m ³	0.03	mSv/h	0.03	mSv/h	無		
	7	不燃物(機器類・制御盤類)	B	03	D	A	1	m ³	0.03	mSv/h	0.03	mSv/h	無		
	8	不燃物(土砂類)	B	04	D	A	1	m ³	0.03	mSv/h	0.03	mSv/h	無		
	9	不燃物(不燃物その他)	B	10	D	A	1	m ³	0.03	mSv/h	0.03	mSv/h	無		
	10							m ³							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1146

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	9	1	不燃物(不燃物その他)③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2017/12/1 8:00	1	m ³			2
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01紙・ウエス類	02プラスチック・ホリ・ビニール類	03木材類	04可燃物その他	05	—
				06—	07—	08—	09—	10—	
		B	不 燃 物	01金属ガラ	02コンクリートガラ	03機器類・制御盤類	04土砂類	05塩化ビニール類	
				06保温材	07石綿含有物	08ケーブル類	09アスファルトガラ	10不燃物その他	
				11フランジタンク本体	12フランジタンク付属品	13—	14—	15—	
		C	難燃物	01ゴム類	02難燃シート類	03ホース類	04難燃物その他	05—	
				D	伐 採 木	01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—	04—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。